

# 御 礼

初秋の候 貴下益々ご清祥の段、お慶び申し上げます。

秋晴れの二十三日秋分の日、

日本赤十字社 東日本大震災 義援金チャリティー

## 【第十六回奈良県空手道選手権大会・極真カラテ大仏杯】

を開催させていただき、無事成功裡に終了することができました。

これも偏に、多くの皆様方のご支援とご協力の賜物と感謝申し上げますとともに、心より御礼申し上げます。

東日本を襲った大震災から半年が過ぎた今も、広範囲に亘る津波の傷跡は無残な姿を留め、放射能汚染の現状回復は未だ見通しのつかない状態です。

微力ながらも現地に義援の気持ちを届け続けることが、大事なことだと思っております。遅々として進まぬ復興対策に歯がゆい思いはありますが、どんなときにも、我々は一人ではない、皆が手を繋ぎ心を寄せ合うことが、大きな力となって世の中を動かすことができると信じています。

今日の武道の根源となるのは、江戸の時代を最盛期とした【武士道】より流れ出ずるものであるのは間違いがありません。

道徳大系としての武士道とは『君に忠、親に孝、自らを節すること厳しく、下位の者

に仁慈を以てし、敵には憐みをかけ、私欲を忌み、公正を尊び、富貴よりも名誉を以て貴しとなす』という大義を呈し、長き時代の変遷にあってもその高い精神性を追求し続けてまいりました。武士道に通ずる高潔な生き方に誰しもが憧れ、求めてやまないものであると思います。

今大会においても、幼い子供たちが果敢に向かってゆく光景に胸を打たれた方もたくさんいらっしゃると思います。武道の大義は精神教育であります。

どのような困難にあっても『負けない精神力』『我慢する忍耐力』『前にむかう行動力』この三つの心の戒めを極真カラテを通じ、青少年育成の柱として伝えてゆく所存です。

今日の武道に生きる武士道精神、これからも心にしかと刻んで精進して参ります。

この度は誠にありがとうございました。

平成二十三年九月二十七日

国際空手道連盟

極真会館 奈良支部

支部長 秦 貴典